

## 船舶事故調査報告書

平成21年11月5日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘  
委員 楠 木 行 雄  
委員 横 山 鐵 男（部会長）  
委員 山 本 哲 也  
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年1月5日 06時55分ごろ機関長が行方不明者の発生を船長に報告した。）
発生場所	不明（機関長が船長に行方不明者の発生を報告した時点の場所は、南極海（概位 南緯62°14′ 西経145°14′）であった。）
事故調査の経過	平成21年1月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）及び平成21年4月1日付けでほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	調査捕鯨船 第二共新丸 <sup>きょうしん</sup> 、372トン 130159、共同船舶株式会社 68.18m×10.80m×6.95m、鋼 ディーゼル機関、1,544kW、昭和62年10月25日
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 二級海技士（航海） 免許年月日 昭和60年10月4日 免状交付年月日 平成20年9月5日 免状有効期間満了日 平成25年11月23日 機関長 男性 58歳 二級海技士（機関）（機関限定） 免許年月日 平成12年8月10日 免状交付年月日 平成17年4月5日 免状有効期間満了日 平成22年8月9日 乗組員A（操機手） 男性 30歳
死傷者等	死亡 1人（乗組員A）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長、機関長、乗組員Aほか17人が乗り組み、平成20年11月14日宮城県塩釜港を出港し、南極海に至って調査捕鯨中、平成21年1月5日05時30分ごろ、食堂にいる乗組員Aの姿を乗組員Bが目撃した。 06時25分ごろ、乗組員Aと同じ時間帯（07時～11時）に機関当直に入る乗組員Cが乗組員Aの姿が見えないことに気付き、居室及び機関室にも見当たらないので、当直中の乗組員Dとともに船内を探した

	<p>が、乗組員Aの所在が分からず、06時50分ごろ機関長に報告した。</p> <p>06時55分ごろ、船長は、機関長から乗組員Aが行方不明であるとの報告を受け、調査捕鯨を中止して船内の捜索を繰り返すとともに付近海域の捜索を行ったが、乗組員Aを発見することはできなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 5、気温 0.4℃</p> <p>海象：波高 約2m、水温 -0.4℃</p>	
その他の事項	<p>本船は、暴露甲板（上甲板）は全周にわたって高さ約1mのブルワークがあり、船体中央部のブルワーク頂部には最大高さ約0.3mのハンドレールが付設されている。</p> <p>平成21年9月17日、死亡認定された。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船が南極海において調査捕鯨中、乗組員Aが落水して死亡したものと考えられる。</p> <p>乗組員Aが落水したことについては、目撃者がいないことなどから、その理由を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が南極海において調査捕鯨中、乗組員Aが落水したため、発生したものと考えられる。</p>	